

学校名： 安芸太田町 T 授業

授業者： 戸河内小学校 中村 可南子

教材作成者： 各小学校人権担当者

授業日時	令和2年1月20日(月)	教科・科目	道徳
学年・年次	第1学年	児童生徒数	16名
実施内容	ジャングルジム	本時/この内容を扱う全時数	1/1
教科書及び教科書会社	きみがいちばんひかるとき1 光村図書		

授業のねらい(本時の授業を通じて児童生徒に何を身につけてほしいか、この後どんな学習につなげるために行うか)

- 自分勝手な態度は、相手を傷つけ、それを見ている周りの人も嫌な気持ちにさせてしまうことを理解し、誰とでも仲良くすることの良さを知る。(人権に関する知的理解を深める。)
- 自分の好き嫌いにとらわれず、周りの人に分け隔てなく接しようとする態度を育てる。

メインの課題(授業の柱となる、ジグソー活動で取り組む課題)

みんなで話し合っ、3匹の気持ちを考えよう。

エキスパートで考えた3匹の気持ちを交流し、改めて3匹それぞれの気持ちをグループで考える。

児童生徒の既有知識・学習の予想(対象とする児童生徒が、授業前の段階で上記の課題に対してどの程度の答えを出すことができそうか。また、どの点で困難がありそうか。)

- ・これまでの友達とのかかわりの中で「誰とでも仲良くしなければいけない」ということはある程度理解していると予想される。しかし、それは理想であって、日常生活では、自分の好きな相手には仲良く接しようとするが、嫌いな相手や苦手な相手に対しては、避けたり、相手にとって嫌な態度を取ったりする場面も見られる。

期待する解答の要素(本時の最後に児童生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準)

- ・仲間はずれにしたり、自分勝手なことを言ったりすると、言われた相手はとても悲しい気持ちになってしまう。
- ・仲間はずれを見ている側も、もやもやとした気持ちになる。
- ・誰とでも仲良くしたほうが、みんながうれしい気持ちになるから、好き嫌いで仲間はずれにして誰かを悲しい気持ちにさせるのはよくない。

各エキスパート<対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパートで抑えたいポイント、そのために扱う内容・活動を書いてください>

<p>A「ねこちゃんの気持ち」 ある日、ねこちゃんがジャングルジムへ行くと、「ぼくとさるくんで遊んでいるから、ちがうところで遊んでよ。」とくまくんに断られてしまう。さらに次の日は、さるくんと遊んでいたにもかかわらず、またしても「ぼくとさるくんで遊ぶからねこちゃんは違うところへ行って。」とくまくんに言われてしまい、とうとう泣き出してしまったねこちゃんの気持ちを考える。</p> <p>B「くまくんの気持ち」 さるくんに「ねこちゃんといっしょにあそばないなら、もうかえる。」と言われ、一人ぼっちになってしまったときのくまくんの気持ちを考える。</p> <p>C「さるくんの気持ち」 くまくんがねこちゃんに対して、仲間はずれにしようとする場面を2度も見てしまったさるくんの気持ちを考える。</p>
<p>ジグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容</p>
<p>くまくんの質問（さるくんとだけ遊ぶのはダメなの？）に対する答えを考える。</p>

本時の学習と前後のつながり

時間	取り扱う内容・学習活動	到達して欲しい目安
これまで	○【主題】あいてにしんせつに 【内容項目】B親切, 思いやり 14「はしのうえのおおかみ」	○相手に親切にすることのよさについて考え、他者を思いやり、誰にでも親切にしようとする意欲と態度を育てる。
本時	○【主題】だれにたいしても 【内容項目】C公正, 公平, 社会正義 20「ジャングルジム」	○誰とでも仲良くすることのよさについて考え、自分の好き嫌いにとらわれず、周りの人に接しようとする意欲と態度を育てる。
この後	○【主題】じぶんのすききらいでなく 【内容項目】C公正, 公平, 社会正義 30「あしたはえんそく」	○誰にで同じように接することの大切さについて考え、周りの人に公正, 公平に接しようとする意欲と態度を育てる。

<p>上記の一連の学習で目指すゴール</p> <p>①自分勝手な態度は、相手を傷つけ、それを見ている周りの人も嫌な気持ちにさせてしまうことを理解し、誰とでも仲良くすることの良さを知る。</p> <p>②自分の好き嫌いにとらわれず、周りの人に分け隔てなく接しようとする実践意欲と態度を育てる。</p>

本時の学習活動のデザイン

時間	学習活動	支援等	評価
6分	1 本時の学習課題をつかむ。 ○「すきなおともだちとだけあそんでもいいよね？」というくまくんからのしつもんに答えてみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> • お話の内容を把握するために場面①～④の場面絵を提示し、問題場面を把握する。 • 「すきなお友達とだけ遊びたいと思ったことはない？」と全体に問いかけ、くまくんからの質問に自分の言葉で答えを出すということを確認しておく。 	
2分	2 学習のめあてを確認する。		
どうして すきな おともだちとだけで あそんでは いけないの？			
5分	3 エキスパート活動に取り組む。 A ねこちゃんの気持ち B くまくんの気持ち C さるくんの気持ち	<ul style="list-style-type: none"> • 時間内に気持ちが書けなくても、話せたらよいことを伝える。 • 友達の意見と自分の意見の似ているところや違うところはないか、考えながら話し合うように声掛けをする。 	
10分	4 ジグソー活動に取り組む。 ○担当したエキスパート資料について自分の考えを発表し合う。 ○3匹の気持ちをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> • 報告だけにとどまらないで、分からないところや聞き取れなかったところは質問をしながら話し合うように声掛けをする。 	
14分	5 クロストークを行い、意見を交流する。 ○各グループで発表をする。	<ul style="list-style-type: none"> • それぞれのグループで話し合ったことを時系列に沿って発表をさせる。 • 児童の意見を生かし、話し合いをコーディネートしていく。 	○3匹のそれぞれの気持ちを考えたり、友達の意見を聞いたりして自分の考えを深めている。
5分	6 学習のまとめをする。 ○くまくんからのしつもんに対する答えをワークシートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> • 書いたことを発表させ、進んで実践しようとする態度につながるように評価する。 	(ワークシート、発言)
3分	7 本時の振り返りをする。		

グループの人数や組み方

エキスパート班は、（3人×4班，2人×2班）

ジグソー班は、（3人×4班，4人×1班）